

記載例④ ※更新前後の設備・機器がエアコンの場合

黄色網掛け部分のみ記載してください。

令和 7 年 □ 月 ■ 日

設備・機器 比較証明書

岡山商工会議所 会頭 様
 岡山北商工会 会長 様
 岡山西商工会 会長 様
 岡山南商工会 会長 様
 赤磐商工会 会長 様

設備・機器メーカー又は納入業者等に証明を依頼してください。

(設備・機器メーカー又は納入業者等)

住 所 岡山市北区●●1-2-3
 名 称 株式会社〇〇機器
 代表者職名 代表取締役
 代表者氏名 ▲▲ ▼▼

岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金(第4弾)に申請する下記設備・機器について、既存の設備・機器と比較して、省エネ効果は5%以上あると判断したことを証明します。

なお、省エネ又は高効率効果の計算根拠資料の提出を求められた場合は、責任をもって提出、説明することになります。

記

1 申請者情報

補助金申請事業者名 (法人:法人名、個人:代表者名又は屋号)	株式会社〇〇工業
設備・機器の設置場所住所	岡山市中区●●1-2-3

2 設備・機器情報

※複数台の場合は記載例をご確認の上、入力してください。

	既存設備	導入予定設備
メーカー等	①A社 ②B社	C社
設備・機器の名称	①エアコンX ②エアコンY	エアコンZ
型番又は型式	①ABC-123(セット型番) ②DEF-456(室内機)、DEF-789(室外機)	HIJ789(室内機)、HIZ123(室外機)
製造年		令和6年
台数	①1台 ②1台	1台
取得予定価格		1,000,000円
比較項目 ※	既存設備	導入予定設備
消費電力量(w/h)	(A)合計 9,925 (w/h) ①ABC-123(セット型番) 2,475(冷房)+2,700(暖房)=5,175 ②DEF-456(室内機) 75(冷房)+75(暖房)=150 DEF-789(室外機) 2,200(冷房)+2,400(暖房)=4,600	(B)合計 4,640 (w/h) HIJ789(室内機) 70(冷房)+70(暖房)=140 HIZ123(室外機) 2,180(冷房)+2,320(暖房)=4,500

設備・機器ごとの消費エネルギー量を記載してください。また、室外機と室内機を分けて消費電力を記載してください。

合計の消費電力を記入してください。

プルダウンから該当する動力を選択してください。

冷房・暖房の両方の消費電力を合算してください。

※ 上記に該当する比較項目を選択してください。該当しない場合は、コールセンターへご相談ください(TEL:086-238-2885)。

既存設備と導入予定設備の動力が異なる場合は、どちらかの動力に統一して記入してください。

例)既存設備は電力、更新予定設備はガスで稼働する場合、ガスの使用量を電力換算する。

使用水量や発熱量、電気・ガス代等の金額による比較は認められません。

既存設備と導入予定設備の性能等が記載されているカタログ等をもとに記入ください。

既存設備が古くカタログ等が入手できない場合は、可能な限りインクジェットプリンターで印刷してください。

複数台の場合も台数は「1式」となります。

3 次の計算式に記入してください。

	上記比較項目エネルギー量 A 又は B	台数 C	A×C又はB×C
既存設備	(A) 9,925(w/h)	1式	(D) 9,925(w/h)
導入予定設備	(B) 4,640(w/h)	1式	(E) 4,640(w/h)
省エネ等効果	(D-E) ÷ D × 100 =		53 % ≥5%